

防災の絆・石川

No.25<30.3.2>発行責任者

NPO法人石川県防災士会

会 長 土田 満

事務局長 福谷 正信

Email sp4t33n9@friend.ocn.ne.jp

平成29年度（第58回）石川県防災総合訓練に参加

平成29年9月3日（日）、会員14名が千坂小学校と大桑防災拠点広場に分かれて参加！

当日は、千坂小学校において避難所を運営していくための問題点を地域住民に提案し、解決策等について、何を準備しておけばよいか古着を利用した非常持ち出し袋やごみ袋を利用した雨具作成についても説明を行いました。また、大桑防災拠点広場においては、防災士の役割と県防災士会のPRをパネルにより住民に対して説明を行いました。



平成29年度第2回スキルアップ研修会開催

平成29年9月24日（日）能登町観光・地域交流センター多目的ホールにおいて当会会員（七尾市以北）

と能登町防災士会会員の52名で「避難所運営ノート」を7班に分かれて、県立能登高校の図面により、避難所を開設するために準備しておくことや避難所における避難者の配置、問題発生時の解決方法についてグループ討議して配られたノートに記入していった。今回の研修で作成されたノートはそれぞれの地域における避難所運営に生かしていくこととなります。

来賓として持木能登町長と能登町総務課危機管理室向井室長をお迎えして開催された。

講師は当会理事で地元能登町の中山防災士と七尾市から谷田部防災士が努めた。



＝ もしもの時に役立つエコな知恵学ぶ ＝

廃油キャンドルづくりと防災おはぎづくりに挑戦

金沢市の横川3丁目町会では、1月20日(土)に揚げ物などで使用した廃油で停電時にも使える「廃油キャンドル」づくりともち米でなく普通に炊いた白米をすりこ木で半づきにして作った「防災おはぎ」づくりに挑戦した。

このアイデアは、竹田雅子防災士が企画し、小崎淳子防災士と山崎陽子防災士が講師となり、家にあるもので作るエコな知恵であり、金沢市のゴミ有料化時期とも時期がマッチし大好評でした。



「ボランティアカフェ@まつがえ」金沢で初開催

金沢市社会福祉協議会が初めて企画した「ボランティアカフェ@まつがえ」が1月18日(木)夜7時から金沢市松ヶ枝福祉館であり、第一回目のゲストに福谷正信防災士が依頼され、防災士の活動や災害ボランティア活動について講演し、参加した11名とボランティア活動について交流を深めた。

このカフェは今後毎月一回定例的に開催される。(添付の新聞切り抜き参照)



これまでの会員の活動報告

- 29.09.03 (日) 第58回石川県防災総合訓練 千坂小学校・大桑防災拠点広場 (14名)
- 29.09.10 (日) 久安4丁目東町会避難訓練で講評(福谷)
- 29.09.10 (日) 久安4丁目東町会避難訓練で講評(小崎)
- 29.09.14 (木) 防災講座(長谷田外犀川地区防災士6名)
犀生中学校育友会の家庭教育学級 (36名)
- 29.09.24 (日) 能登町総合防災訓練に参加 能登高校グラウンド他(土田・中野・福谷・中山)
第2回スキルアップ研修会「避難所運営ノート研修」 (52名)
- 29.09.24 (日) 白山市からの委託事業 「避難所運営ノート研修」御手洗公民館
(大月・藤田・杉村)
- 29.09.30 (土) 金沢マラソンボランティア説明会 金大角間(中野・竹村・織部)
- 29.10.01 (日) 白山市からの委託事業 「避難所運営ノート研修」松任高校
(藤田・中野・杉村・福谷・竹村・松田・鈴木)
- 29.10.08 (日) 広報委員会 ビリオン(7名参加)
- 29.10.08 (火) 金沢市災害ボランティアネットワーク会議(土田・福谷)
- 29.10.14 (土) 公明党浜田昌義参議院議員と防災活動についての意見交換 ホテル金沢 (7名)
- 29.10.16 (月) 珠洲市大谷小中学校での避難訓練(大月)
- 29.10.19 (木) 民生委員実務者研修で講演 「民生委員と防災活動」 125名(福谷)
- 29.10.20 (金) 金沢ウォーク2017 ボランティア説明会 金沢市総合体育館(福谷・織部)
- 29.10.21 (土) 能登町防災気象講演会 北陸学院大学准教授 田中純一(能登町防災士会主催)
- 29.10.24 (火) 金沢市コミュニティ防災士交流研修で三馬地区の取り組み発表(竹村・福谷)
- 29.10.26 (木) 金沢マラソン参加者への配布物封入作業ボランティア 県立音楽堂(10名参加)
- 29.10.29 (日) 金沢マラソンスタート地点での選手誘導ボランティア(32名参加)
- 29.11.03 (金) 三馬地区避難運営マニュアル検証訓練 約200名参加
- 29.11.04 (土) 本部スキルアップ研修「気象災害集中講座②」 白山市市民交流センター
(24名参加)
- 29.11.05 (日) 西泉本町会老人会「新緑会」で防災講演 30名(福谷)
- 29.11.05 (日) 山島地区での「避難所運営ノート研修」(大月・杉村・松田)
- 29.11.08 (水) 大徳中学校で避難訓練・大徳地区自主防災活動について講演
全生徒650名と教職員が参加(大徳地区防災士会会長 縄野勉)
- 29.11.11 (土) 金沢ウォーク2017 ボランティア 四高記念公園 (18名参加)
- 29.11.12 (日) 金沢ウォーク2017 ボランティア 四高記念公園 (21名参加)
- 29.11.16 (木) 夕日寺校下気象防災ワークショップ 夕日寺公民館(横浜・杉村・小崎・福谷)
- 29.11.26 (日) 金沢災害ボランティアセンター運営研修 松ヶ枝福祉館(6名参加)
- 29.11.26 (日) 石川県原子力防災訓練(中野・鍛冶 他)
- 29.11.26 (日) 防災士シンポジウムinいしかわ 内灘町地域防災センター
石川中央都市圏防災連絡会議主催 大月副会長が避難所運営について講演
- 29.11.26 (日) 能登町大箱区での防災講演会 30名(中山)
- 29.11.30 (木) 石川県土砂災害対策連絡会議 地場産(大月・福谷)
- 29.11.30 (木) あいむ運営会議 あいむ(中野)
- 29.12.02 (土) 拡大役員会・忘年会 割烹魚常(31名参加)
- 30.01.13 (土) 石川県危機管理フォーラム 13:30~地場産
- 30.01.18 (木) 石川県危機対策課から今後の除雪体制について意見聴取
中野・大月・福谷

- 30.01.18 (木) ボランティアカフェ@まつがえ 19:00～松ヶ枝福祉館
第1回目福谷事務局長がゲストとして45分講演。
今後は毎月1回開催。
- 30.01.20 (土) 横川3丁目町会で「えこ&防災ワークショップ」
(竹田・小崎・山崎防災士) 女性10名参加
- 30.01.21 (日) 災害に強い街づくりフォーラム 県立看護大学
山下光信金沢地方気象台防災管理官講演
- 30.01.24 (水) 原子力防災研修 10:00～15:00 志賀町(90名参加)
県庁9:00出発
- 30.01.28 (日) 金沢市防災士交流研修発表会 14:00～地場産
- 30.02.03 (土) 女性の視点からみる地域防災講座
13:00～石川県女性センター
(公財) いしかわ女性基金主催
- 30.02.06 (火) かなざわスポーツボランティア研修会 19:00～
金沢市総合体育館(関防災士2名)
- 30.02.11 (日) 地区防災計画推進会議
13:00～大宮(中野・福谷)
- 30.02.11 (日) 北信越支部連絡協議会役員会 11:00～大宮(中野・福谷)
- 30.02.18 (日) 石川県防災士スキルアップ研修会
13:30～いしかわ総合スポーツセンター
- 30.02.18 (日) 災害ボランティアコーディネーターフォローアップ研修
現地本部運営向上研修 10:00～地場産
- 30.02.24 (土) 三役打合せ 13:30～ビリオン
- 30.03.03 (土) 石川県防災士スキルアップ研修会
13:30～小松市民センター
- 30.03.09 (金) 金沢錦ヶ丘高校交流授業(福谷・越原)
- 30.03.11 (日) 石川県防災士スキルアップ研修会 能登空港ターミナルビル
- 30.03.12 (月) 金沢錦ヶ丘高校交流授業(中野・小崎)
- 30.03.13 (火) 金沢錦ヶ丘高校交流授業(木下・縄野)
- 30.03.18 (日) 女性部会会議 13:30～松ヶ枝福祉館

今後の行事予定

- 30.4.14 (土) 午前11:00～ 会計監査 郵政研事務室
- 30.4.14 (土) 午後1:30～ 役員会 金沢市松ヶ枝福祉館1階「生きがい学習室」
- 30.4.18 (水)～19 (木) FOODEXでアルファ米づくり&試食
産業展示館
- 30.4.22 (日) 午前11:00～ 役員会 金沢市松ヶ枝福祉館4階「集会室」
- 30.4.22 (日) 午後1:30～ 総会 金沢市松ヶ枝福祉館4階「集会室」
一部の方に4/21(土)役員会・総会と連絡しましたが、会場の都合で4/22(日)に変更。
- 30.6.9 (土)～10 (日) 10:00～16:30 災害ボランティアコーディネーター養成研修会
能美市防災センター
- 30.6.16 (土)～17 (日) 10:00～16:30 災害ボランティアコーディネーター養成研修会
宝達志水町民センターアステラス
- 30.7.11 (水) 午前11時 県民一斉防災訓練(シェイクアウトいしかわ)
- 30.7.21 (土) 時間未定 平成30年度日本防災士会北信越支部連絡協議会総会(金沢市)
- 30.10.14 (日) 午後1:30～5:00 防災士スキルアップ研修会(穴水町)変更予定あり、
- 30.10.28 (日) 金沢マラソンボランティア

事務局よりお願い

・会員の活動報告提出依頼

当会では、会員の皆様の地域や職場での活動報告を提出していただくようお願いしております。報告内容は、①報告者名 ②活動日 ③活動場所 ④活動内容 ⑤主催 ⑥参加人数（男女別）です。

報告先は、〒921-8164 金沢市久安3-171 福谷正信 方 NPO 法人石川県防災士会
FAX 076-282-9332 または、Email sp4t33n9@friend.ocn.ne.jp まで

・メールアドレスの報告（手続き）依頼

PC やスマートフォンのアドレスの報告をお願いします。

事務局では、手数・郵送料を鑑みて各種情報をメールで御案内しております。

御理解いただき、皆さまの御協力をお願いいたします。

上記事務局PC アドレスに空メールを送ってください。登録し、会員の皆様に一斉送信いたします。

現在、会員のメール登録者数は、25.5%です。

※注 ガラケー携帯では添付ファイルが開けませんので、携帯はスマートフォンのみです。

・年度会費の納入についてお願い

平成 29 年度会費の未納の方は、早急にお振り込みいただきますようお願いいたします。

私達の活動資金は、会員の皆様からの拠出金（年会費 2,000 円）で成り立っています。

平成 30 年度会費の早期納入にご協力ください

平成 30 年度の会費納入をお願いしています。29.10.1 以降にご入会の方は平成 30 年度分の会費を既にいただいています。

平成 30 年 5 月 1 日（火）が貯金通帳からの引き落とし日です（4/30 引落日が祝日のため 5/1 となります。）引き落とし不能とならないよう、通帳残高の確認をお願いします。

まだ、自動払込みの手続きをされていない会員には、払込手続きの簡素化や手数料負担の軽減から、できるだけ自動払込みの手続きをお願いしています。

5 月 1 日に引き落とす場合は 2 月末日までにお近くの郵便局で手続きが必要ですが、以降も毎月 30 日に引落日を設けていますので、3 月以降でも結構ですので、ゆうちょ総合通帳と印鑑、本人確認のための運転免許証をご持参の上、お近くの郵便局で手続きをお願いします。ゆうちょ総合通帳をお持ちでない方もその場で通帳を作れます。詳しくは郵便局でお尋ねください。

★ 自動払込みの口座番号は次のとおりです。

加入者名 特定非営利活動法人（NPO 法人）日本防災士会石川県支部

口座番号 13130-14812161

手数料 1 件 25 円

★ 振込用紙で払い込まれる場合は次の口座へ 2,000 円の振込をお願いします。

加入者名 石川県防災士会

口座番号 00770-1-57485

手数料 ATM 利用の場合 80 円 窓口利用の場合 130 円

なお、4 月 22 日（日）の総会に参加される方は、会場でも会費の受付をいたします（その場で領収書をお渡しします。）ので、同封の総会出欠葉書にその旨ご記入下されば、混雑を避けるため、あらかじめ領収書を準備させていただきます。

ボランティア活動保険に全員加入しました

被災地でのボランティア活動は勿論、防災士会の各種行事（総会・役員会・研修会など）に参加する場合に万が一けがした場合や相手に損害を与えた場合の損害額を補償する保険に、年会費2千円（29年度分）を納めている会員全員加入しました。

保険に加入した方へは、「ボランティア活動保険加入カード」と「活動保険のしおり」を同封しました。
ただし、石川県災害ボランティア協会会員及び他の団体で既に参加されているとお聞きしている方は複数加入しても効力は一人1件だけなので、加入しません。状況の変化などにより保険が必要な方は事務局まで申し出てください。

郵便局長の皆様は郵便局長会各地区会において保険の加入についてご検討ください。

この保険は全国社会福祉協議会の保険で、自宅を出てから帰るまで補償されます。

加入したのは「天災A」タイプで当会での負担は、しおりに書かれている金額から石川県及び金沢市からの補助を差し引き、一人250円）

補償期間は1年間で年度の途中に加入されても満期は一律で来年3月31日午後12時までとなっています。

北 陸 中 日 新 聞

15 【金沢】 2017年（平成29年）11月27日（月曜日）

災害ボランティア
運営者の心得指南
金沢、ゲーム形式で研修

災害時に設ける災害ボランティアセンターの運営者を対象とした研修会が二十六日、金沢市高岡町の松ヶ枝福祉館であり、参加者は

カードゲーム方式により、万一の際のボランティアあつせんの手順などを確認した。センターは、災害時の支援活動の拠点となる場所。被災者からの活動依頼やボランティアの受け付け、あつせんなどを担う。

大勢の支援者が集まった



ゲームを通じて、ボランティアあつせんの手順を確認する参加者。金沢市松ヶ枝福祉館で

際の運営を体験してもらうと金沢市社会福祉協議会などが企画した。協議会の協力団体から三十五人が参加。センターに見立てた班をつくり、中規模の都市で地震と洪水が発生したとの想定で展開した。

参加者は、活動依頼の内容が書かれているカードをはじめ、ボランティアの年齢や性別が書かれているカードなど四種類の道具を使った。家財の運び出しを手伝ってほしいという女性の依頼内容が読み上げられると、「大きな家具なら三人は必要」「女性のボランティアがいれば安心」などと意見を交換。依頼カードにボランティアカードを数枚貼り付けて割り振った。その後も次々と入ってくる依頼に対応していった。

（田中美知生）

2018年(平成30年)1月20日 (土曜日)

ボランティアの役割学ぶ

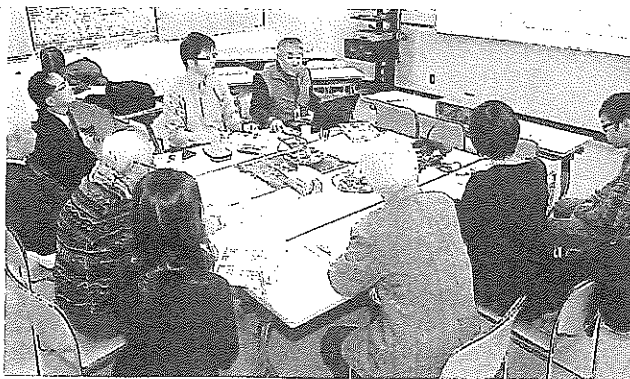
金沢市社会福祉協議会の「ボランティアカフェ@まつがえ」は18日、市松ヶ枝福祉館で初めて行われ、11人がボランティアの役割を学び、交流を深めた。

県防災士会の橋谷正信事務局長が講演し、災害時の避難誘導など防災士の役割を紹介した。大雪の除雪に時間がかかったことについて「行政は幹線道路の除雪を優先するため、生活道路

金沢で「カフェ」初開催

は地域のボランティアが協力して対応する必要がある」と話した。

カフェは、ボランティアに関する情報を共有し、市内での活動を促進させるために企画した。昼間に時間が取れない学生や社会人らが参加できるよう、毎月第3木曜午後7時～8時半に開く。次回は2月15日、かなざわ紙芝居倶楽部がゲストとなる。



ボランティアの役割を学ぶ参加者
—金沢市松ヶ枝福祉館

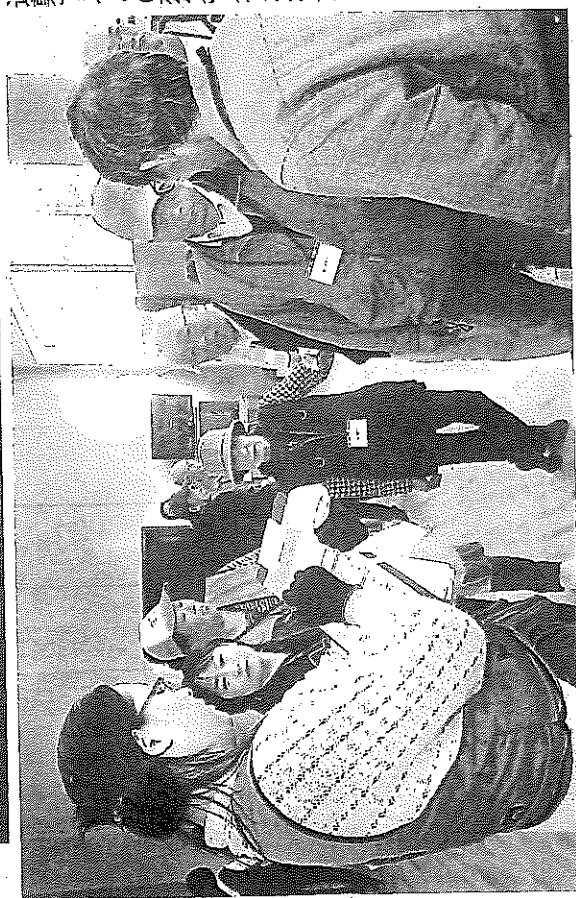
三馬マニュアル改善へ

金沢 地区独自の避難所運営

大地震想定 住民ら200人初訓練

金沢市三馬地区の防災士会と自主防災対策委員会は3日、三馬小で地区独自の避難所運営マニュアルを活用した訓練（北國新聞社後援）を行った。住民ら約200人が大地震発生時に避難者だけで避難所運営ができるか確認した。マニュアルに難しい表現が多く、戸惑うスタッフがいるなど課題が見つかり、今後、円滑に運営できるようにマニュアルを改善する。

訓練は金沢市で震度6強の地震が発生し、三馬小に避難するとの想定で行われた。地区単位のマニュアルを使った訓練は市内で初めてとなる。



避難所運営マニュアルを使って訓練する参加者
—金沢市三馬小

難しい表現多く

町会役員や市職員約20人が「総務」「被災者管理」「施設管理」などの運営スタッフとなり、マニュアルに従って校舎内の点検や町会ごとの避難者数の確認、ほか人の手当てをした。

マニュアルに記載された「避難所状況報告書」の具体的な内容が分からなかったり、表現があいまいで次の行動に移れなくなったスタッフもいた。避難者役から説明を求められてスタッフが答えない場面もあった。

防災士会は今後、訓練で浮かび上がった課題と改善点を話し合う。地区のほかの避難所である清泉中用の避難所マニュアルも作成する。三馬地区防災士会の稲谷正信代表(68)は「素早く避難者を誘導し、誰もが使いやすいようマニュアルを直したい」と話した。

洋画家六反田さん
現美出品作並べる

金 沢

一般財団法人真美術文化
協会常任委員で、二紀会会

29.10.20(金) 北国

◆民生委員が防災学が

金沢市民生委員児童委員協議会の第4回実務研修会は19日、同市の松ヶ枝福祉館で開かれた。市内の民生委員125人が防災について学び、災害に備えた。県防災士会の福谷正信事務局長が講師を務めた。

北 陸 中 日 新 聞

2017年(平成29年)11月5日(日曜日)

金沢【能登・加賀】

16

正しい情報把握を

白山 防災士気象災害学

全国の防災士を対象にした気象災害を学ぶ講座が四日、白山市民交流センターであった。気象庁銚子気象台元次長の矢野良明さんが「観測と予報」「防災

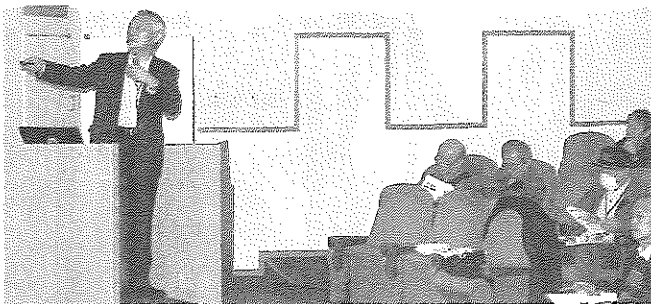
気象情報の入手と活用」の二テーマについて話した。約五十人が参加。「観測と予報」では、矢野さんが地域気象観測システム(アメダス)や気象レーダー観測に関して説明した。ゲリラ豪雨や竜巻などの様子を捉える気象レーダー「フェースドアレイレーダー」も

紹介した。

「防災気象情報の入手と活用」では、公的機関や報道機関による情報の重要性を指摘。「災害発生時は情報不足で不安が広がることもある。正しい情報を把握することを意識してほしい」と訴えた。

講座はゲリラ豪雨や季節外れの台風といった近年の異常気象を受けて、日本防災士会が二〇一六年度から全国各地で開いている。

(富田章午)



気象災害について話す
矢野良明さん(左)＝白山
市民交流センターで

平成 30 年度事業計画のポイント

NPO法人石川県防災士会

平成 30 年 4 月 22（日）に開催する総会において提案する平成 30 年度事業計画のポイントは以下のとおりです。

1 会員のスキルアップと講師の育成

年 2 回のスキルアップ研修会を開催し、研修内容をそれぞれの地域や職場で受講生が講師となり、住民に対して防災意識の向上に役立てていただく。

2 自治体との連携強化

・地区防災計画の推進

日本防災士会の最重要課題である地区防災計画の県内各地域への推進を図り、自主防災活動の活性化を推進していく）

・自治体からの委託事業促進

（前年度初めて白山市からの委託事業として「避難所運営ノート」研修を行った。今年度はさらに増やしていけるように努めていく。）

・石川県防災総合訓練（9/2 予定）への参加

・県土砂災害連絡会議委員に 2 名参加し県政へ参画

・市町へのアンケートを実施し、各市町のニーズ聴取

3 女性部会の活性化

発災時の女性防災士の役割について更に議論を進めていくことにします。

4 広域連携の強化

日本防災士会北信越支部連絡協議会（新潟県・富山県・石川県・福井県・長野県）では、平成 30 年度は石川県が幹事県となり、7/21（土）金沢市での総会開催。災害時の活動指針を定め、広域連携を強化していく。

5 ボランティア活動への積極的参加

金沢マラソン・金沢ウォークへの参加、金沢市社協との連携「金沢市災害ボランティアネットワーク会議」で関係団体との連携を進めていく。金沢市防災訓練 8/26（日）へ災害ボランティア団体として参加する。